



SmartDevicesPlus

## リリースノート

バージョン:	4.1
最終更新日:	2018 年 9 月 13 日
互換性:	GeneXus 15 U6 以降、GeneXus 16 U0 以降

<b>新機能 .....</b>	<b>3</b>
SmartDevicesPlus 4.1.....	3
• 開始ウィザード.....	3
• 新しいテーマ: 「Business」 .....	5
• 「Flat」 テーマの更新 .....	8
• サンプルアイコン集 .....	8
• 新しいユーザーコントロール: 生体認証 .....	9
• グラフの新機能.....	11
• 新しい外部オブジェクト: SmartDevicesPlusUtil .....	13
• 新しい [Visible condition] プロパティ .....	14
• 新しい [Is required] プロパティ .....	16
• 階層エディターでの検索 .....	17
• List テンプレートのフローティングアクション .....	18
• List テンプレートの [Visible] プロパティと [Invisible Mode] プロパティ .....	20
• テンプレートでの GeneXus の既定の検索フィールドの削除 .....	20
• テンプレートでの GeneXus の既定のフィルタの削除.....	21
• List テンプレートの条件 .....	21
SmartDevicesPlus 4.1.5.....	22
• GeneXus 15 U10 用の iOS 互換性の追加 .....	22
SmartDevicesPlus 4.1.7.....	22
• HiDPI モニターの改善.....	22
SmartDevicesPlus 4.1.8.....	23
• プロパティの使用による WorkWithDevices コードの消失.....	23
SmartDevicesPlus 4.1.10 .....	23
• GeneXus 15 U12 用 Android ジェネレーターの互換性 .....	23
SmartDevicesPlus 4.1.11 .....	23
• GeneXus 16 用の互換性 .....	23
SmartDevicesPlus 4.1.12 .....	23
• BiometricsAPI が Android で動作しない.....	23

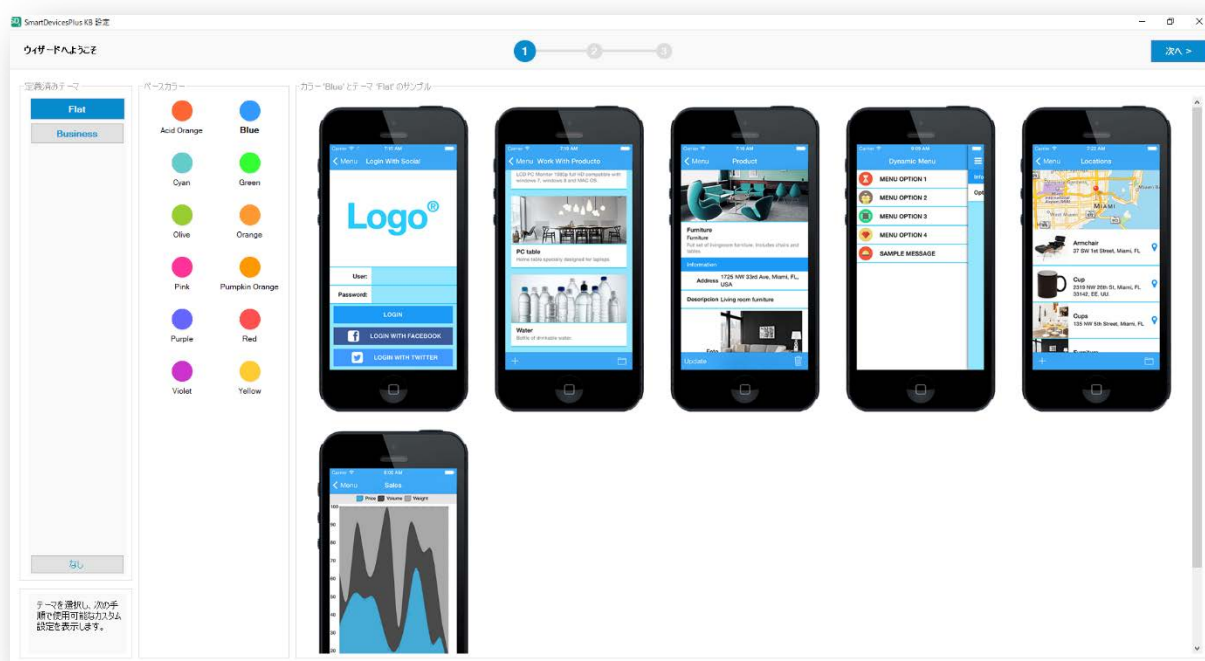
## 新機能

# SmartDevicesPlus 4.1

### ● 開始ウィザード

アプリケーションの外観と操作感、スタイルをカスタマイズするための開始ウィザードが新しく追加されました。この開始ウィザードでは、アプリケーションに組み込む既定の機能も定義できます。

ナレッジベースに SmartDevicesPlus を初めて適用する前に、[ツール] メニュー → [SmartDevicesPlus] → [SmartDevicesPlus テーマをインポート] の順に選択して、この開始ウィザードを開きます。



開始ウィザードでは、ガイド付きのさまざまなステップを通じて、作成するアプリケーション独自の外観と操作感、機能セットを選択します。プロジェクトでの必要性に応じて、テーマ、色、レイアウト、スタイル、機能の組み合わせを作成できます。

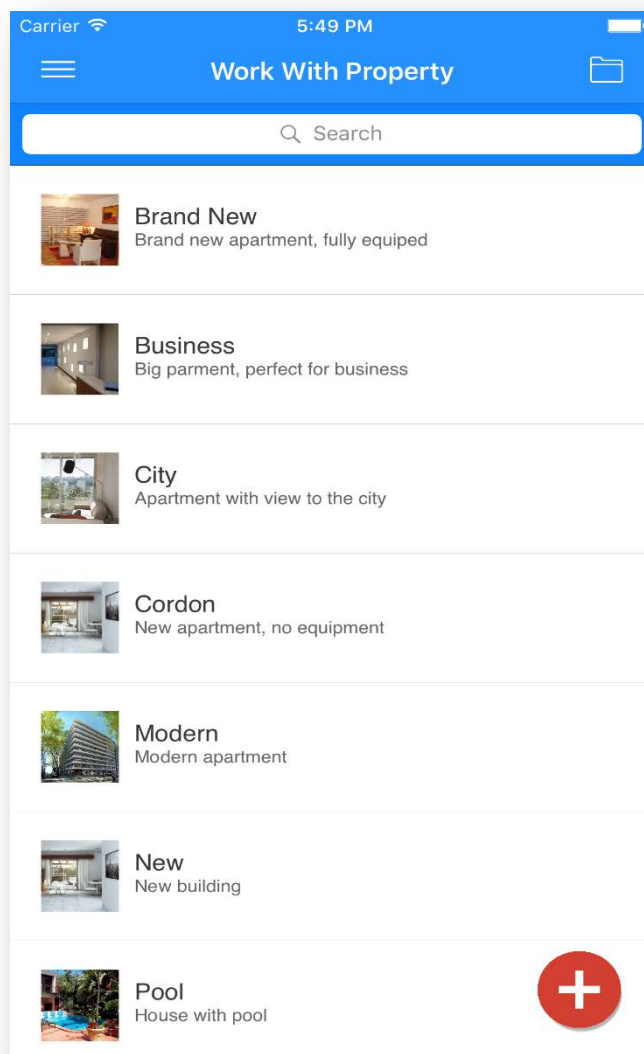
開始ウィザードで適用できるカスタマイズと機能の一部を次に示します:

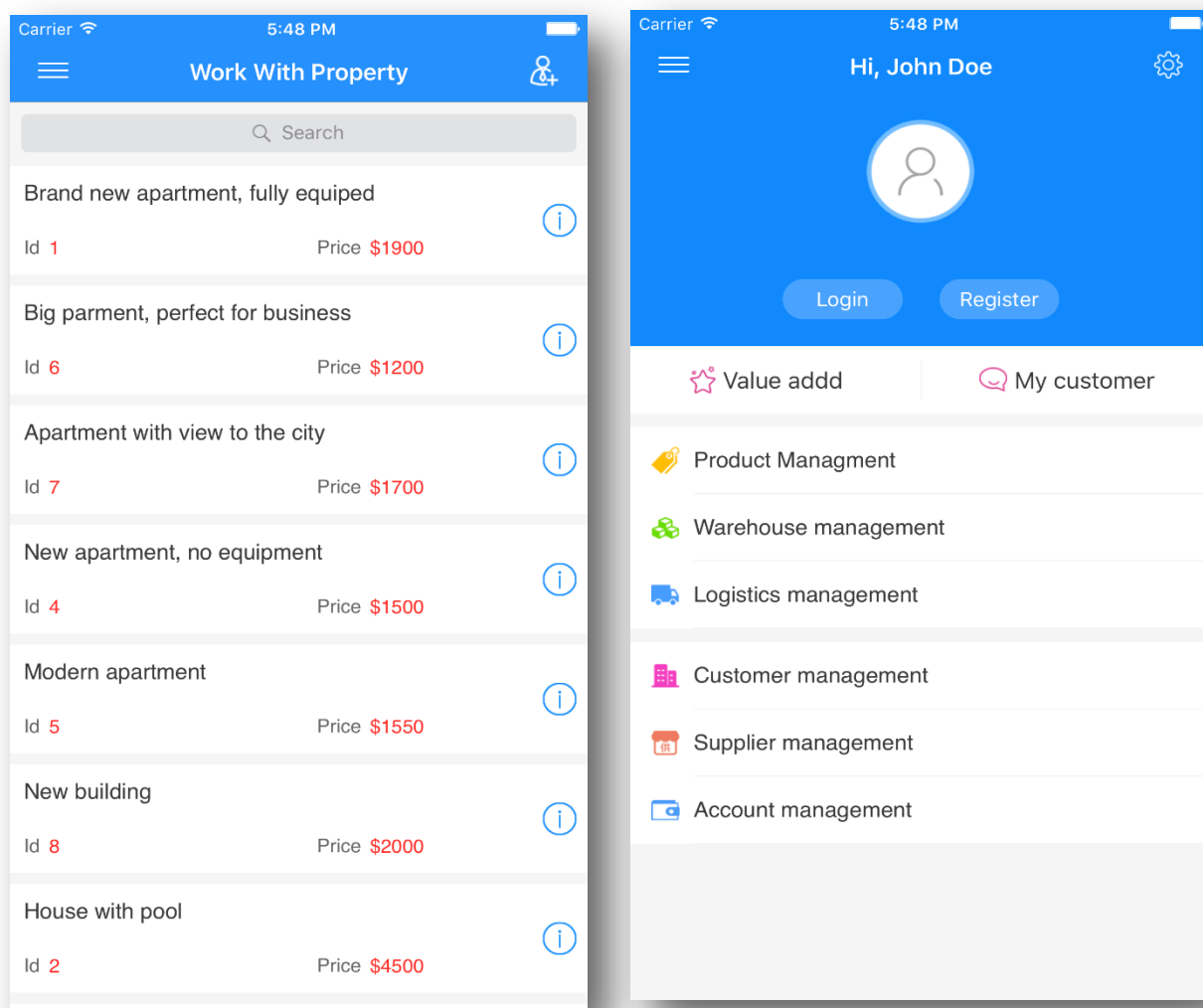
- アプリケーションのテーマとカラーパレット
- プラットフォーム
- 接続と通知
- ロゴとスプラッシュ画面
- メニュースタイル
- セキュリティタイプ
- ログイン画面とユーザー登録画面
- 指紋認証の有効化
- サンプルアイコン集
- その他

各ステップおよび設定項目の詳細については、次のリンクを参照してください: [開始ウィザード](#)

- **新しいテーマ: 「Business」**

「Business」という名前のテーマとそのテンプレートが新たに作成されました。新しいトレンドに適した、シンプルですっきりとしたデザインです。





「Business」テーマには次のテンプレートが含まれています:

- List
  - タイトル
  - タイトルとサブタイトル
  - 画像 (タイトルとサブタイトル付き)
  - 複数の情報
  - フィルタされた情報
- Detail
  - データ表示
  - セクション表示

- Edit
  - データ編集
  - セクションを使用して編集
- Chart
  - エリア
  - 円
- Login
  - ログイン
- Menu
  - ダイナミックメニュー
  - アイコン付きメニュー
- Other
  - Web ブラウザー
  - ホーム
  - GX イメージギャラリー
  - マップエレメント表示（画像付き）
  - マップエレメント
  - ダイナミックメニュー
  - アイコン付きダイナミックメニュー
  - モバイル ダイナミック フォーム
  - 手書き署名
  - ユーザー情報

開始ウィザードを使用すれば、プロジェクトのニーズに合った固有のパレットを使用することができます。

各ステップおよび設定項目の詳細については、次のリンクを参照してください: [開始ウィザード](#)

## • 「Flat」テーマの更新

カラーパレットなどの機能を利用するために、Flat テーマが更新されました。

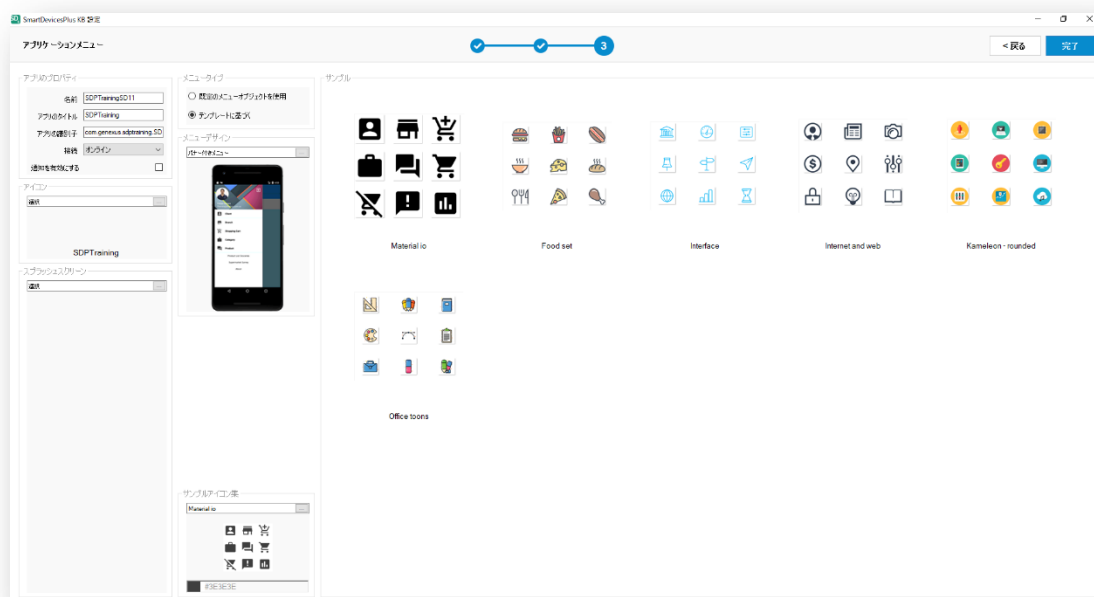
## • サンプルアイコン集

アプリ内（メニューなど）で利用できるアイコンを開発者が簡単に利用できるように、標準のサンプルアイコン集が追加されました。

次のアイコン集が使用できます：

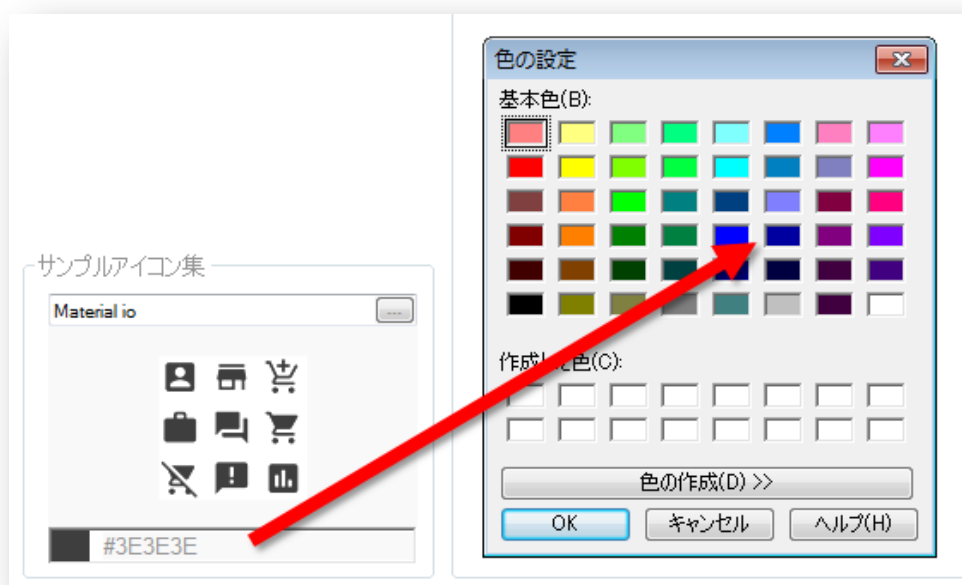
- Material io
- Food set
- Interface
- Internet and web
- Kameleon – rounded
- Office toons

これらのアイコン集は開始ウィザードで選択できます。



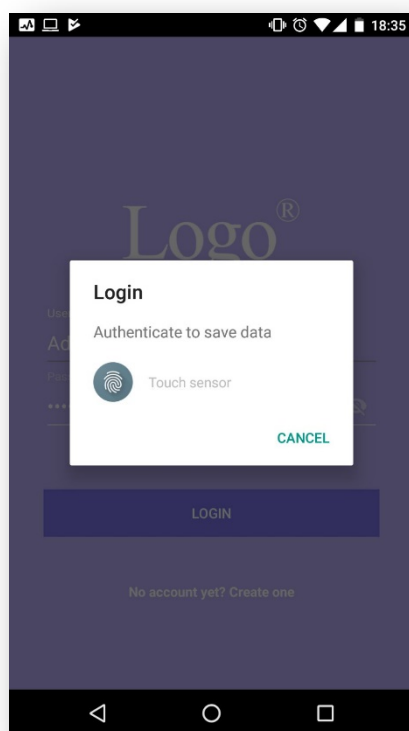


また、アイコンの色をカスタマイズすることもできるため、自分のアプリケーション用のパレットカラーでアイコン集をインポートすることもできます。

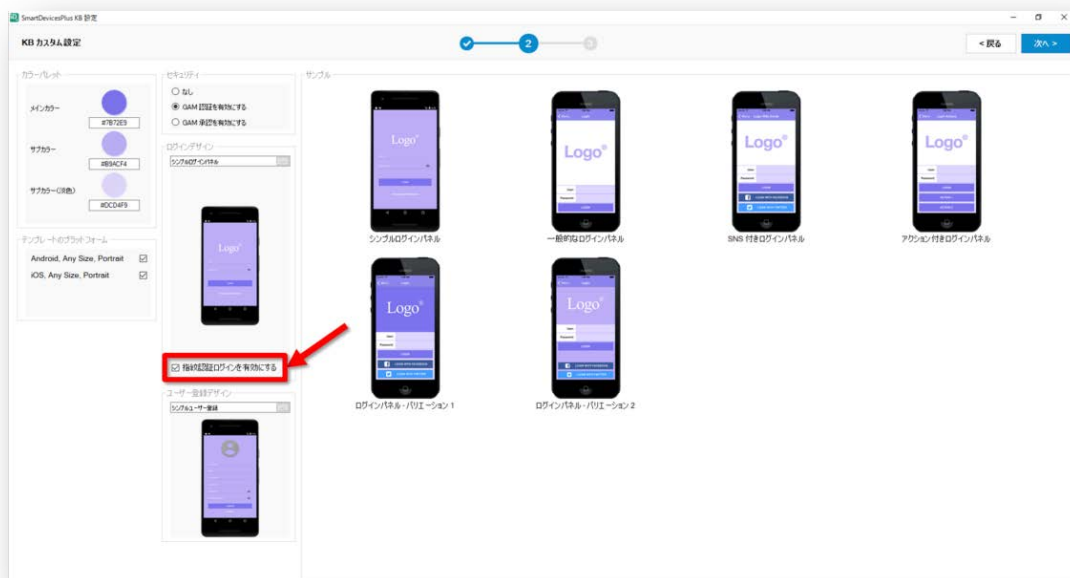


## • 新しいユーザーコントロール: 生体認証

指紋リーダーを使用してログインできるように、新しいユーザーコントロールが追加されました。デバイスにこの機能が搭載されている場合は、指紋を使用するだけでアプリケーションにログインできます。



開始ウィザードの実行中に、ログイン画面に既定でこのコントロールを含めることができます。



このオプションを選択すると、生体認証のユーザーコントロールを使用できる動作を備えたログイン画面が作成されます。

この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [生体認証統合](#)

## ● グラフの新機能

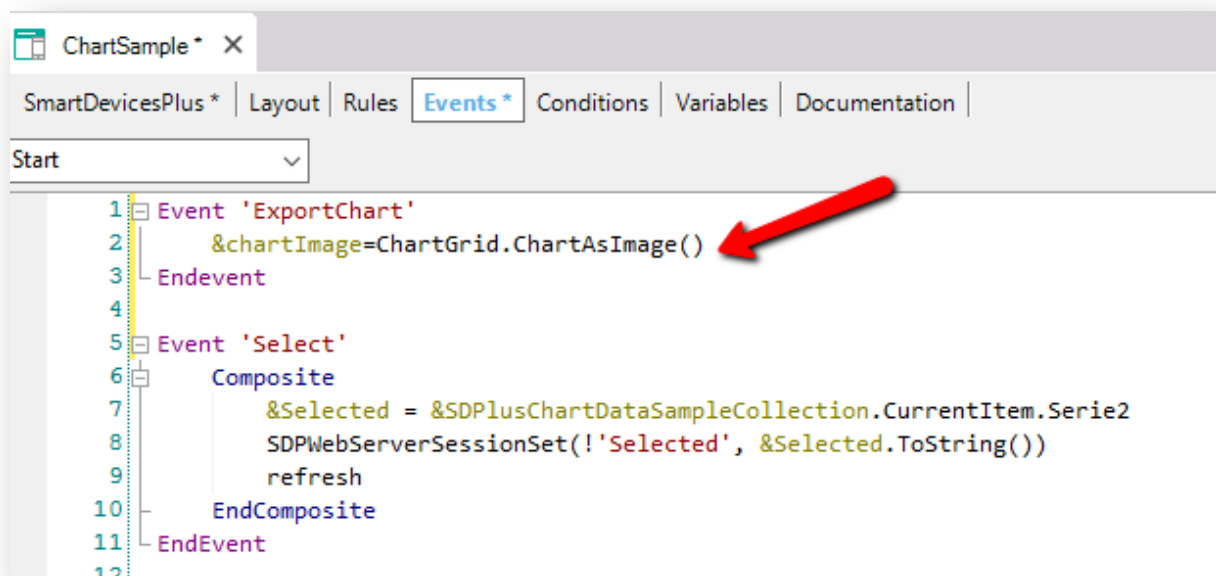
グラフ機能を強化するために、Chart ユーザーコントロールに 3 つの新しいプロパティが追加されました。

### [Property Chart As Image]

このプロパティでは、グラフのスクリーンショットを撮ることができるようになります。

これにより、開発者はグラフがある画面にボタンを追加して、ユーザーがグラフを画像としてエクスポートできるようにすることができます。

このプロパティを使用するには、次のコードを（ボタンなどの）イベントに含める必要があります。

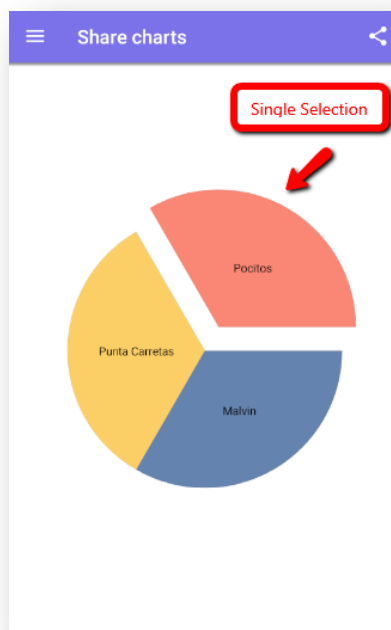


### [Pie Chart Selection Mode] (Android のみ)

このコンボプロパティは、円グラフの選択モードを設定します。次の値を設定できます：

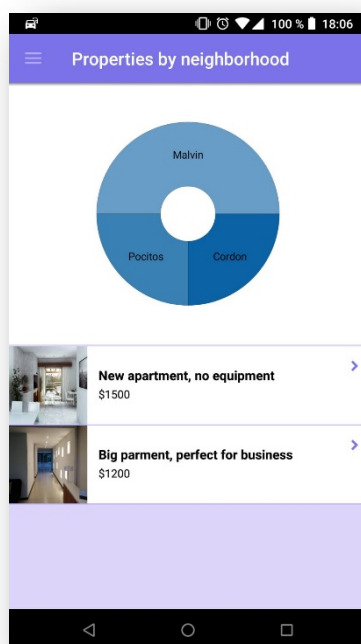
- None: 円グラフでは選択できません。
- Single: 円グラフの 1 項目のみ選択できます。
- Multiple: 円グラフの複数の項目を選択できます。

このプロパティは iOS では以前から使用できました。このバージョンから、Android でも利用できるようになりました。



#### [Pie Inner Circle Radius Percent]

このプロパティでは、円グラフの内側の半径を設定して、どのように表示されるかをカスタマイズすることができます。

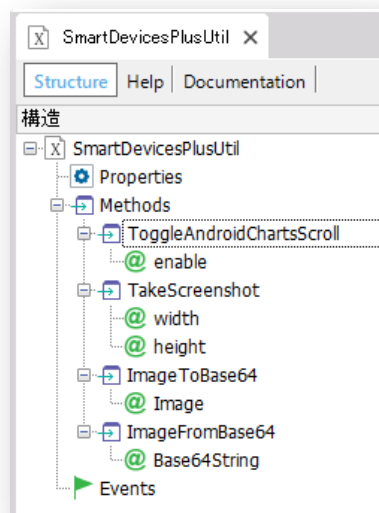


これらのプロパティの詳細については、次のリンクを参照してください:

- [対応する Android 用グラフの種類](#)
- [対応する iOS 用グラフの種類](#)

## • 新しい外部オブジェクト: SmartDevicesPlusUtil

ほとんどのプロジェクトで必要なタスクの一部を簡素化するために、新しい外部オブジェクトが追加されました。この外部オブジェクトは、開始ウィザードの実行時にナレッジベースにインポートされて利用可能になるため、簡単に使用できます。



### TakeScreenshot

このメソッドでは、特定の幅と高さのスクリーンショットを撮ることができるため、解像度をカスタマイズできます。

幅と高さを 0 のままにした場合、スクリーンショットの画像はデバイスの解像度になります。

幅または高さのいずれかを設定し、もう片方の値を 0 のままにした場合、スクリーンショットの画像は適切な解像度が維持されるように調整されます。

### ImageToBase64

このメソッドでは、画像を Base64 に変換できます。

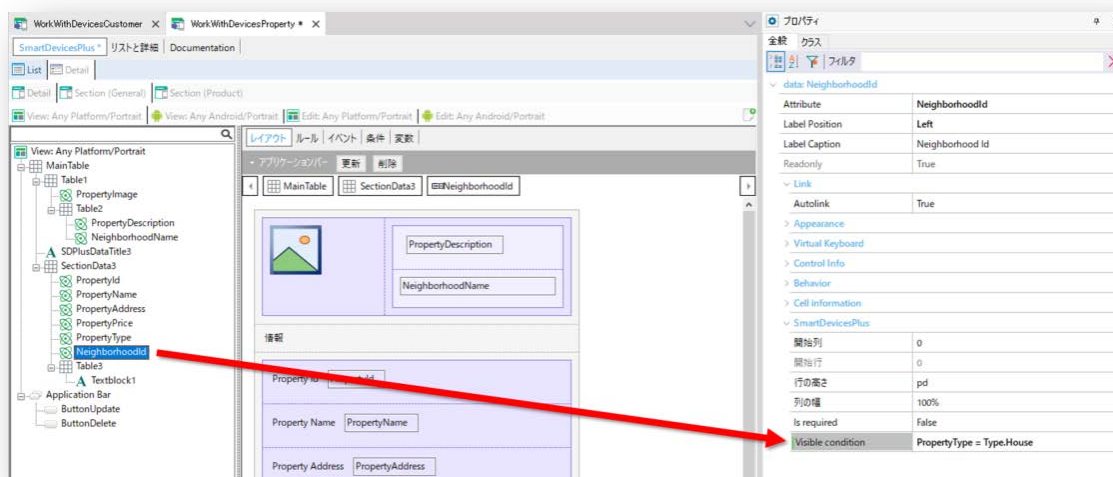
## ImageFromBase64

このメソッドでは、Base64 文字列を画像に変換できます。

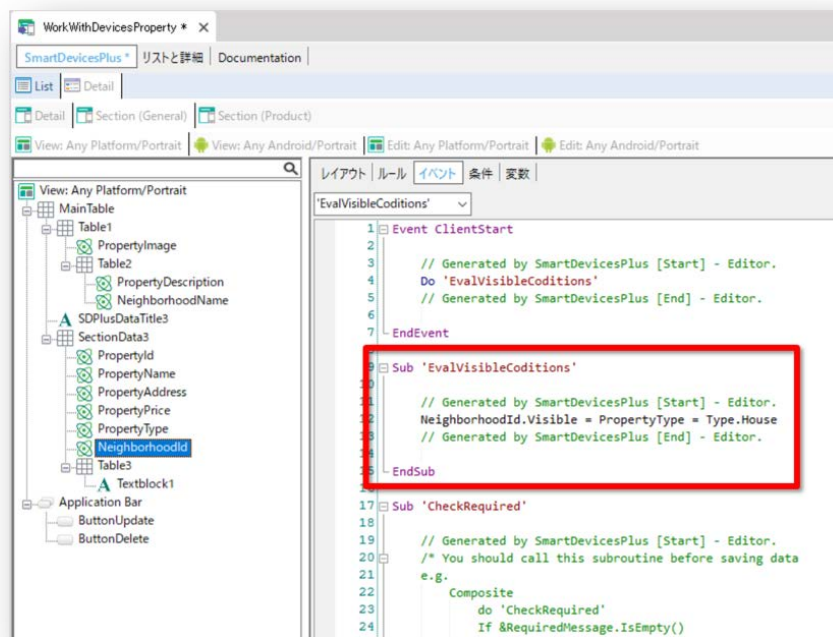
この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [SmartDevicesPlusUtil](#)

### ● 新しい [Visible condition] プロパティ

項目属性または変数が表示されるかどうかを定義するために、SmartDevicesPlus 階層エディター内に「Visible condition」という名前の新しいプロパティが追加されました。

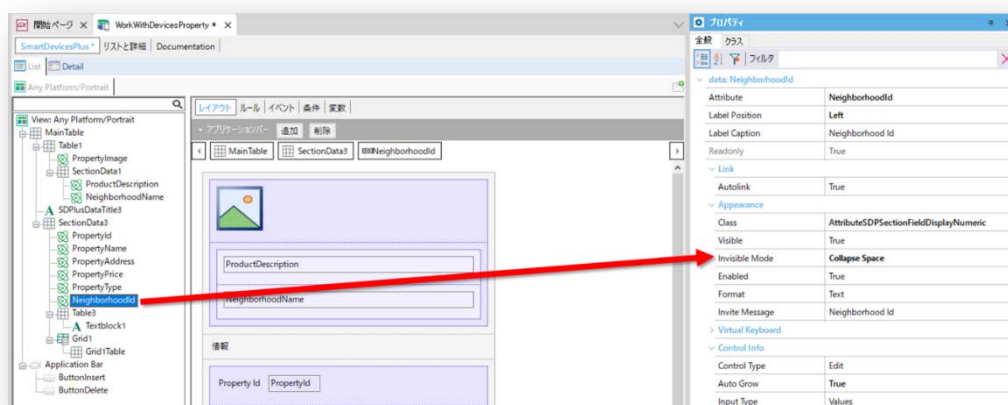


[Visible condition] を定義すると、SmartDevicesPlus により、すべての条件が検証される EvalVisibleConditons というサブルーチンが自動的に作成されます。



このサブルーチンは、イベント「ControlValueChanged」や、その他の必要なイベントから呼び出すことができます。

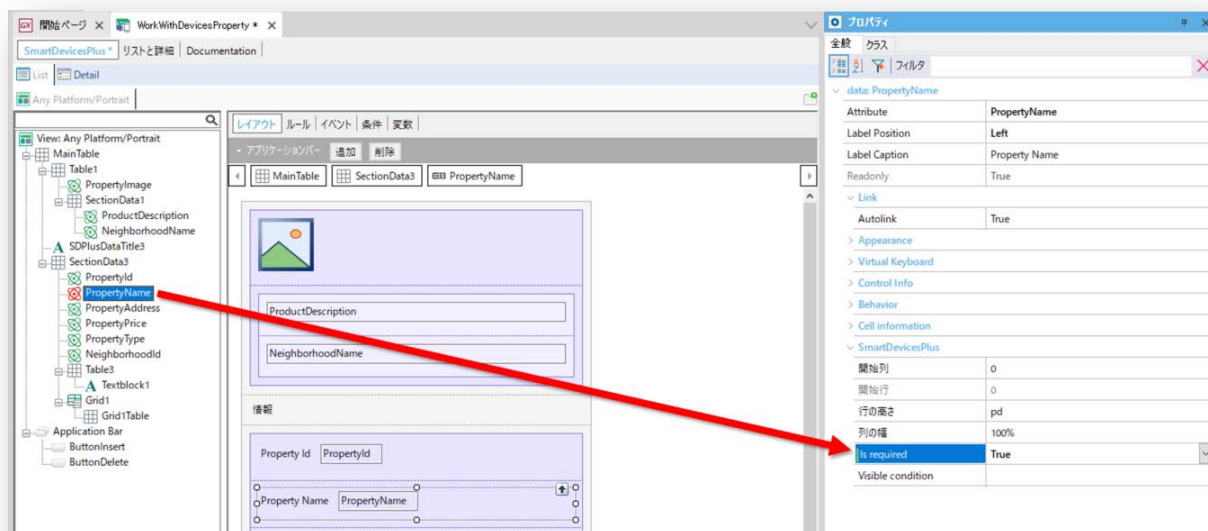
また、SmartDevicesPlus によりコントロールの [Invisible Mode] が [Collapse space] に設定され、コントロールが非表示のときにユーザーに「空白」のスペースが表示されないようになります。



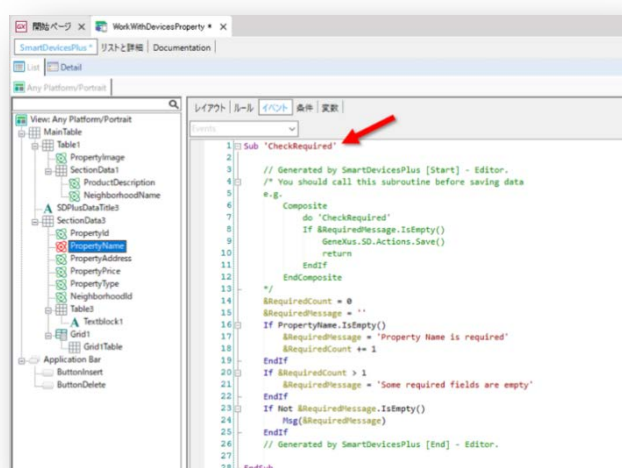
この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [階層エディターの機能](#)

## ● 新しい [Is required] プロパティ

項目属性または変数を必須にするかどうかを定義するために、SmartDevicesPlus 階層エディター内に「Is required」という名前の新しいプロパティが追加されました。



このプロパティを [True] に設定すると、SmartDevicesPlus により、必要なすべての項目属性がユーザーによって入力されているかどうかを検証する「CheckRequired」というサブルーチンが自動的に作成されます。

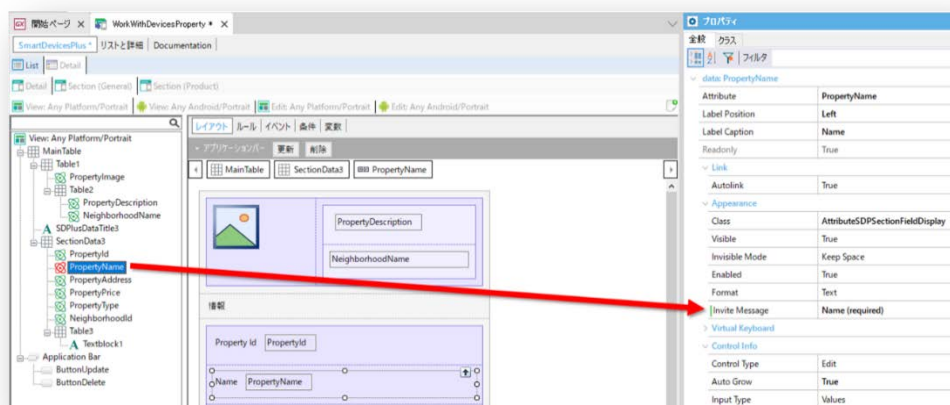


データを保存する前に、次の例のようにこのサブルーチンを呼び出す必要があります。



```
45  
46 Event 'Save'  
47  
48 // Generated by SmartDevicesPlus [Start] - Template: SDPDataEdit  
49 Composite  
50 do 'CheckRequired'  
51 If &RequiredMessage.IsEmpty()  
52 GeneXus.SD.Actions.Save()  
53 return  
54 EndIf  
55 EndComposite  
56 // Generated by SmartDevicesPlus [End] - Template: SDPDataEdit  
57  
58 EndEvent
```

また、SmartDevicesPlus により [Invite Message] が設定され、実行時にユーザーにフィールドが必須であることが表示されます。

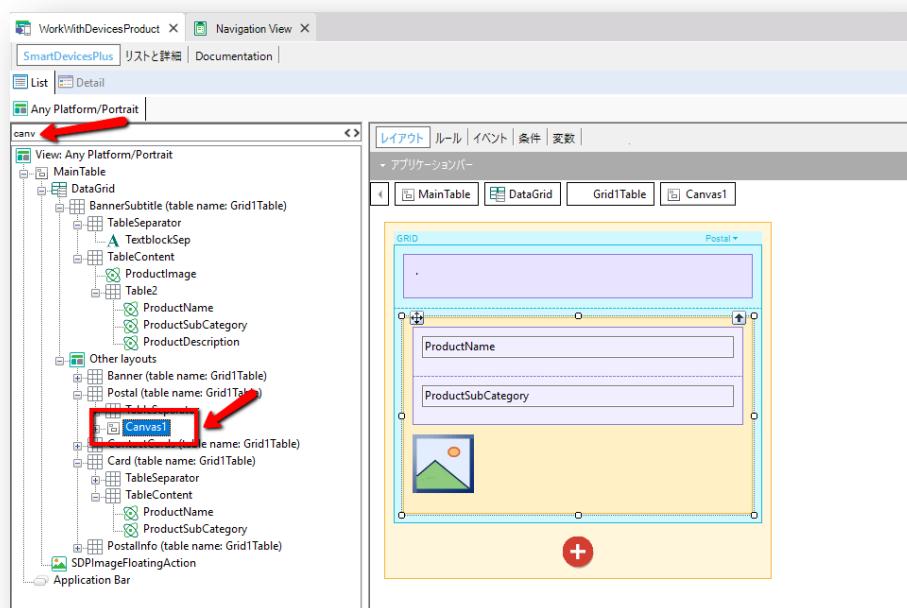


この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [階層エディターの機能](#)

## ● 階層エディターでの検索

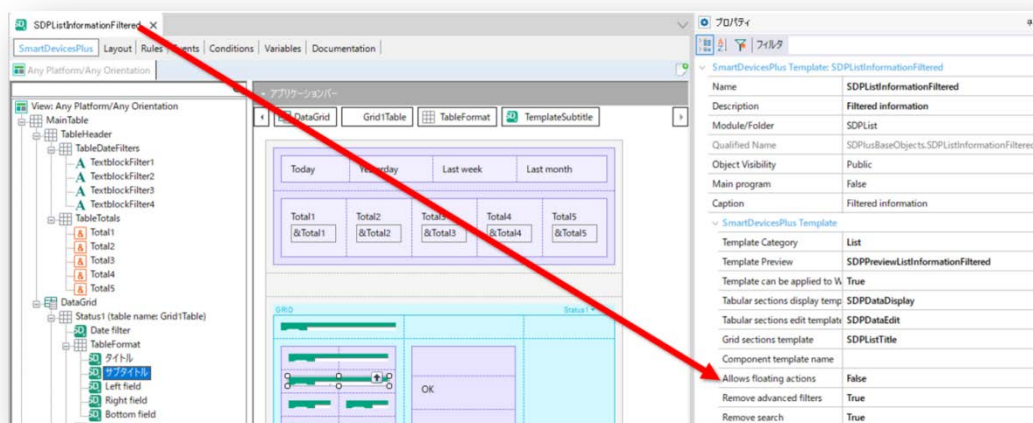
階層エディターのアイテム内で検索する機能が追加されました。

この機能を使用することで、レイアウトのコントロールやアイテムを簡単に見つけて編集することができます。

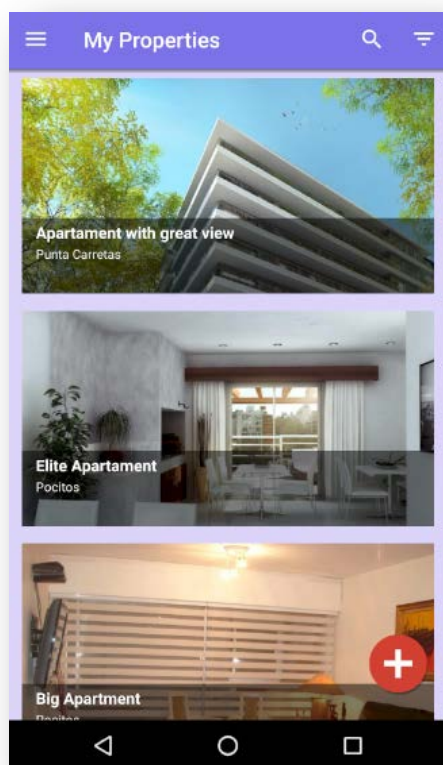


## • List テンプレートのフローティングアクション

List テンプレートにフローティングアクションを追加する機能が追加されました。フローティングアクションは、マテリアルデザインの一般的な機能です。この機能を有効にするには、List テンプレートで次のプロパティを設定する必要があります。



この機能を使用すると、新しいレコードを挿入するための（または、必要なタスクを実行するための）フローティングアクションを各 List テンプレートに追加することができます。



フローティングアクションを有効にするには、List に使用するテンプレートを選択するときに、次のプロパティを設定する必要があります。

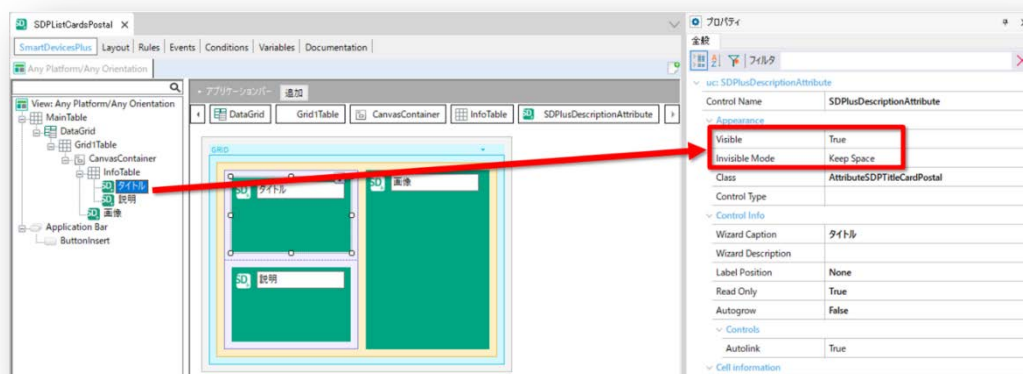


この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [フローティングアクションを有効にする](#)

## • List テンプレートの [Visible] プロパティと [Invisible Mode] プロパティ

テンプレートの項目属性で [Visible] プロパティと [Invisible Mode] プロパティを設定できるようになりました。

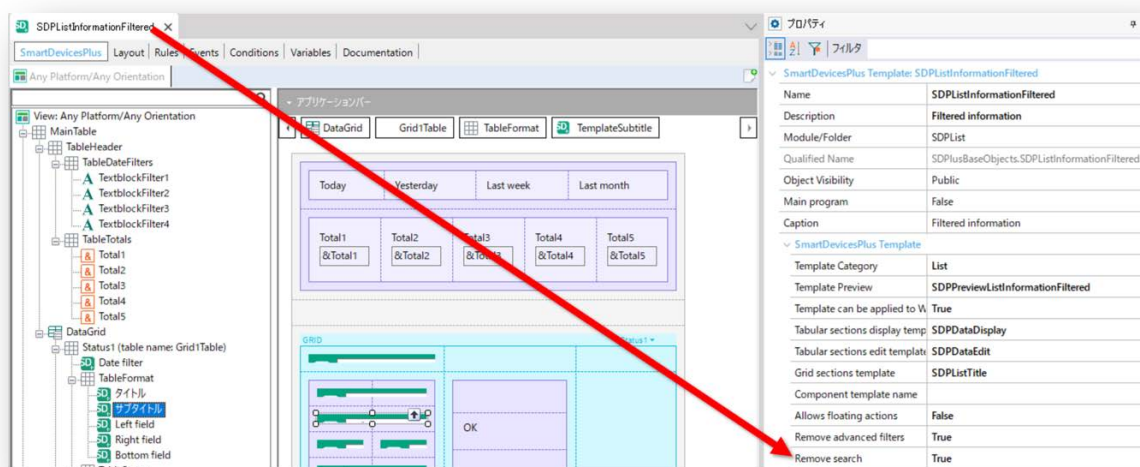
このプロパティを使用すると、画面に表示されずに（アクションのパラメーターなどとして）使用される項目属性を持つテンプレートを作成できます。



## • テンプレートでの GeneXus の既定の検索フィールドの削除

テンプレートで、List 内にある GeneXus の既定の検索フィールドを削除できるようになりました。

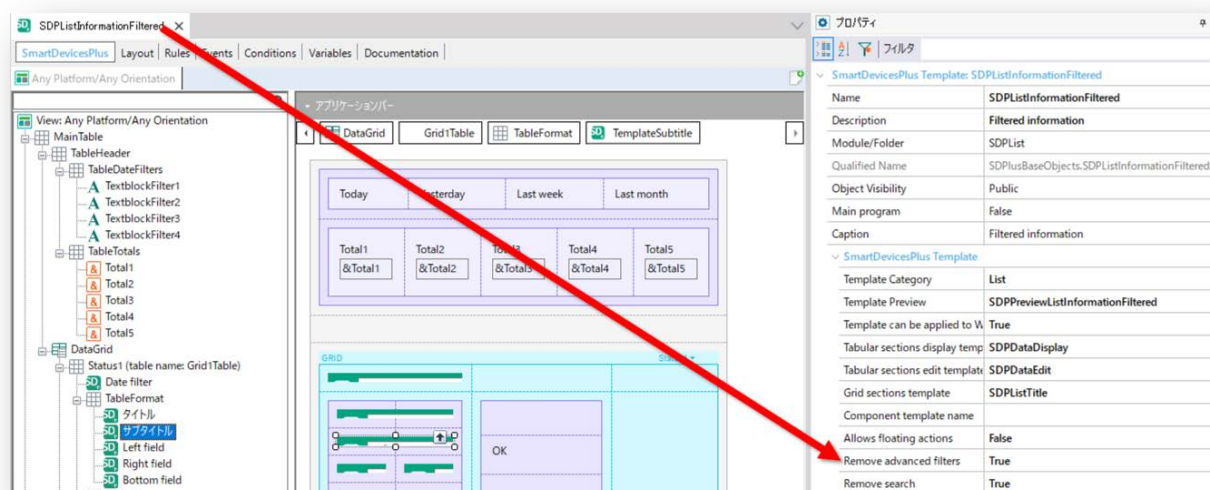
このプロパティを使用すると、既定の検索フィールドを使用せずにテンプレートを作成できるため、List 内での検索の実行方法をカスタマイズできます。



## • テンプレートでの GeneXus の既定のフィルタの削除

テンプレートで、List 内にある GeneXus の既定のフィルタを削除できるようになりました。

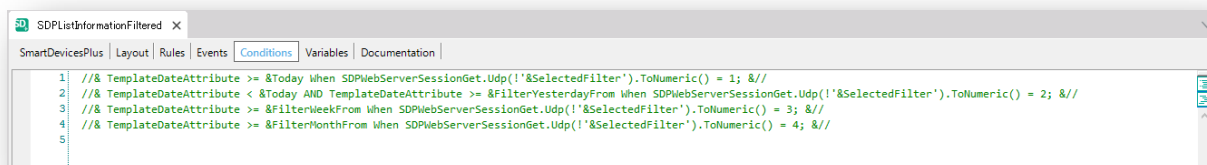
このプロパティを使用すると、既定のフィルタを使用せずにテンプレートを作成できるため、List 内でのユーザーのフィルタ方法をカスタマイズできます。



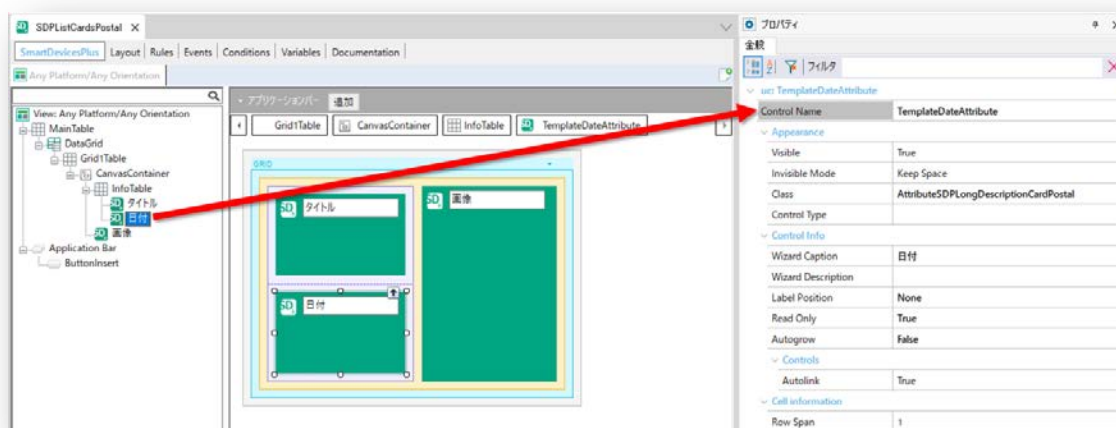
## • List テンプレートの条件

テンプレートで、一般的な条件を定義できるようになりました。この機能により、さまざまなシナリオで役立つ一般的な条件をテンプレートで定義することができます。

テンプレートでは、次のように条件を定義できます。



この例では、「TemplateDateAttribute」はテンプレートの項目属性コントロールです。



このテンプレートが WorkWithDevices インスタンス用に選択され、TemplateDateAttribute 項目属性が具体的な項目属性 (InvoiceDate など) で定義されると、条件は自動的に置き換えられます。

この機能は、[Remove advanced filters] プロパティと共に使用して完全にカスタマイズされたデータフィルタリング機能を作成する場合に便利です。

## SmartDevicesPlus 4.1.5

- **GeneXus 15 U10 用の iOS 互換性の追加**

GeneXus 15 U10 iOS フレームワーク用の互換性が追加されました。

## SmartDevicesPlus 4.1.7

- **HiDPI モニターの改善**

SmartDevicesPlus の開始ウィザードで、HiDPI モニターをサポートするためのいくつかの改善が行われました。



## SmartDevicesPlus 4.1.8

- **プロパティの使用による WorkWithDevices コードの消失**

WorkWithDevices の詳細ノードで階層エディターのプロパティを使用すると、イベントが表示されなくなる問題が修正されました。

## SmartDevicesPlus 4.1.10

- **GeneXus 15 U12 用 Android ジェネレーターの互換性**

GeneXus 15 U12 Android ジェネレーターの互換性が追加されました。

## SmartDevicesPlus 4.1.11

- **GeneXus 16 用の互換性**

GeneXus 16 用の互換性が追加されました。

## SmartDevicesPlus 4.1.12

- **BiometricsAPI が Android で動作しない**

GeneXus 15 Upgrade 12 および GeneXus 16 Beta バージョンにおける GeneXus Android ライブラリの内部変更により、SmartDevices Plus Biometrics API の使用時にエラーが発生しました。BiometricsAPI が修正され、新しい GeneXus ライブラリで動作するようになりました。